

カフェ・メキシコシティ

伊地知克介

【登場人物】。

男女

女

カフェの扉を開けて、その男が入ってきた。見慣れない日本人が現れたことで、客たちが話をやめ、男がどの席につくのか、目で追いつめるのがカフェの2階席からわかった。私の魂はその時、空を飛んだ。人工衛星のように地球を半周し、時間も超えてはるか前の日本の空へ。なつかしい口縄坂を2人の若者が上ってくる。蛇が語源という長く伸びた坂。女の子は降りだした雪を驚いたように見つめる。男の子は彼女の手を取り、2人は手をつないで、坂を上っていく。上空にいる私に、彼女が感じていることが伝わってくる。彼の手の暖かさ、彼のシャツの匂い、木々の枝が風で動く音の騒がしさ、雪が染めていく大阪のまち。女の子は顔を真っ赤にしている、それをなんとか気づかれないように必死のようだ。二人は織田作之助文学碑の前を通り過

男 女 男 女 男 女 男 女 男

ぎ、雪と光の中を、まちの中へ。気が付くと、私の魂はまた地球を半周していた。(男が登場し、椅子に座る) カフェは再び、にぎやかなおしゃべりで満たされ、レモネードの入ったグラスの前に、その男は座っていた。

条件が厳しすぎると思うんです。

(黙っている)

条件を見直してほしいと考えて、話し合いをしに日本から来ました。

(黙っている)

私の言っていること、わかりますか。小説家のサン・バリには日本語のわかるエージェントがいると聞いてメキシコシティまで来たんです。あなたがその人ではないんですか。(黙っている)

あなたがそうじゃないのなら、私はその人と話したいのです。スペイン語で話しますか。その必要はありません。私がその日本語を話せるエージェントです。

ありがとうございます。日本語お上手ですね。日本に留学していました。かなり前ですが。安心しました。サン・バリの小説は世界的に人気がありますが、覆面作家なので、日本で小説を映画化する話が出たとき、私たちもどうアプローチしていいか、悩んでいたんです。あなたが連絡してくれて、助かりました。まずは感謝します。条件が厳しすぎるのですが、

男 女 男 女 男 女 男 女 男 女

話し合うことで解決できると考えています。そうだといいのですが。

サン・バリはこの近くに住んでいるのですか。このカフェに来ることもあるのですか。

なぜそんなことを聞くんです？

「木の葉のささやきや鳥の叫びで目覚めるような郊外で暮らさなくなつてもう10年以上になる。今は朝まず聞くのは車のクラクションの音だ。自分でも戸惑う。昔は崖から伸びる木々の白い幹や黒い岩々を眺めると心の安らぎを得られたが、今心の動揺を鎮めるのは、行きつけのカフェのブラックコーヒーとアイスクリームだ」

驚いた。サン・バリのエッセイまで読んでいるのですね。

私自身、愛読者なのです。

日本の有名プロデューサーが愛読者とは、うれしいです。

「ヴェネチア旅行」は私自身もとても好きな小説です。日本でもファンが多いのです。監督も愛読者で「ヴェネチア旅行」を日本人キヤストを使って映画にしたいと言っています。いい映画になると思いますし、国際的なヒット作品になると確信しています。私の他の作品と同じように。

彼女については知っています。とてもいい映画をつくっていますね。ありがとうございます。ぜひ条件を見直し、

男 女 男 女 男 女 男 女

私たちに協力してほしいのです。

条件を見直すのは難しいのです。サン・バリはなかなか自分の意見を変えません。

そこをエージェントのあなたから伝えてほしいのです。サン・バリの出した条件は、映画化にあたって、大きな障害になる、もつといえ、それは無理だと。

サン・バリはさまざまな無理をのりこえて小説家になった人です。簡単には「無理」という言葉を受け入れない。

小説はある意味、書かれればそこで完成です。でも映画は多くの人がかわり、映像をつくりあげ、映画館で上映され、観客がそこに金を払い、サブスクで使われ、そこでまた金が動く。そこには経済がかかわってくるのです。サン・バリはいうでしょう。小説と同じで、映画もまた芸術である。芸術と経済はお互いを高めあってもいいが、侵略してはいけない。彼は映画好きで、日本の映画もたくさん見ています。愛読者なら、知っていますね。

ええ、サン・バリの小説には主人公が一人で映画を見る場面が多いですね。それにしても日本映画をよく見ているのは驚きです。「男はつらいよ」とか「釣りバカ日誌」まで。

そういう人ですからね。こだわりの強いのは許してください。

条件に付いて話しましょう。①必ずヴェネチアで撮影すること。風景を合成することは認

男 女 男 女 男 女

めない。これは大丈夫です。もちろんイタリア・ロケはします。

それは何より。

②ストーリーを変更しないこと。特に登場人物がたどる苦い結末を少しでも甘くするような脚色は認めない。脚本ができれば、できるだけ早くそのスペイン語の翻訳をつくり、サン・バリのチェックを受けること。その翻訳者についてはこちらから指定するが、翻訳料については映画会社で負担すること。これも了解です。あの結末を私たちは素晴らしいと考えていて、変更することなどは考えていません。翻訳はあなたがするのですか。

もし私の仕事になれば、誠実な翻訳に努めることは約束します。

わかりました。いずれにしてもその条件は認めますし、サン・バリがチェックし、直してほしいというところは直すようにします。③主な登場人物はメキシコ人だが、日本映画なので、映画では日本人に置き換え、冒頭場面は東京か大阪にして日本人俳優が日本語で話すこと。これも大丈夫です。むしろ私たちの考えている通りです。問題はここからです。④登場人物の名前は変更してはいけません。問題ですか。

主人公を日本人という設定にするんですよ。日本人が主人公の夫婦を演じるわけです。主人公たちの名前は、ロドリゴ・ゴンザレスと

女 男 女 男 女

男 女

クラウディア・ゴンザレスじゃないですか。そんな日本人はいません。あー、あなたたちは主人公の名前を「のびた」とか「しずかちゃん」に直したいわけですね。まさか、ドラえもんシリーズの新作にしたいというわけではありません。日本人らしい名前にです。映画が始まります。最初の場面を東京のマンションにすると、せりふがこうなるわけでしょう。「ねえ、ロドリゴ。ヴェネチアに行くなら次の夏がいいわ」「クラウディア、私の文化財研究所は夏に大きな仕事を抱えているんだ」「ゴンザレス所長は病気につき長期休暇を取る、って私が副所長のフリーダにメールを送るわ」。日本人の夫婦の会話じゃありません。そういう日本人もいるでしょう。多様性の時代ですよ。そういう日本人もいるじゃない。最近の日本人は欧米風の名前をつけるのものはやっていると。キラキラネーム？中南米風ははやっています。ロドリゴとかいませんよ。まして名字がゴンザレスって。いそうに思えるけど。絶対いけません。あとフリーダやアレハンドロ・コルテスも出てきますが、これも日本人の名前としては、不自然です。地球温暖化で日本は最近とても暑くなっているそうですね。映画館ではチュロスを食べる

女 男 女 男 女 男 女 男 女 男

のがはやっていると聞きます。ああ、元はメキシコのお菓子ですね。つまり、いまの日本はほぼメキシコです。そんなことはありません。そのうちロドリゴとかクラウディアという名前がはやり始めますよ。それもあります。日本人女性の名前はもつと短いのがふつうです。チエコ、とか、サクラ、とか。日本人男性のわがままですね。女性を呼ぶ時間を節約しようなどと。時代遅れにもほどがあります。そのうち、クラウディアは普通になるでしょう。サン・バリはいうでしょう。登場人物の名前は作品の一部である。主人公がスカレット・オハラでなければ「風と共に去りぬ」ではないし、主人公が「ハムレット」でなければ「ハムレット」ではない。無理ですよ。できるだけ顔の濃い役者を使つて、親の代で帰化したとか、そういう変な説明をつけないといけなくなります。それは望ましくありませんね。(間) 解決策を思いついたわ。なんです？釣りバカ日誌方式よ。お互いにニッケネームで呼び合う夫婦や職場は珍しくないわ。ロドさん、クラちゃん、というのではどう？職場

女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男

でゴンさん、と呼ばれている文化財研究所長はきつというわ。

ロドさん、ですか。

それならサン・バリを説得できる。

ほかに方法がないなら、私もそれで監督を説得します。ロドさん、かあ。

役に立ててうれしい。

そこで、最大の問題になってくるその先の条件について話し合いたい。

なに、そこまで問題なの。

⑤これです。映画館で「ヴェネチア旅行」が上映される時間と、映画館以外で上映される時間は必ず同一とすること。時間を短縮することが絶対にできないように技術的な制約をかけること。

なにが問題。

そんなことできるわけないじゃないですか。できないの。

映画の見方は本当に多様化しています。DVDで見る人、サブスクで見る人。いまは映画館で見るだけという人は少ない。

映画館でしか見るなとは言っていないわ。

実質、そういうことになってしまふ。家で映画を見る人は世界的に増えています。早送りしながら見るファスト視聴はいま、若者の間で広がっていて、止められない。

サン・バリはまさにそれを懸念している。「ヴェネチア旅行」がどんな小説かわかっていま

女 男 女 男 女 男 女 男

すか。中年の夫婦がイタリア旅行で若いカップルに出会い、さまざまなハプニングを経て、人生を見つめなおす話です。1・5倍速で見て、理解できるとは思えません。

それはその通りですが、早送りを技術的に防ぐのは無理です。

そもそも早送りしながら見るなんて、映画を見たことにならないわ。

それはそう思います。でも、その流れは止められない。

止めましょう。私たちで。無理だと言い続ければ、本当に無理になってしまふ。

わかります。わかりますが、それは見る人の自由を制限することになってしまふ。サン・バリは神様ではありません。

観客もまた神様ではない。

映画監督が言うならわかるが、サン・バリは小説家でしょう。読者に何時間かけて読むように、とか指定するんですか。

小説や美術は受け手がともに過ごす時間について選ぶことのできる芸術です。モナリザの前に3時間立ちどまつてもいい、モーパッサン、ヘミングウェイ、チェーホフ。短編小説の名人たちの作品を1年かけて読むのなら、それはとても美しい1年でしよう。でも映画や演劇は違う。作り手と受け取り手が共有する時間こそが芸術なのです。それを早めることなど許されない。サン・バリはそう言つて

映画化 という日本語はとてもおかしいですね。映画になることで小説が消えて、映像作品に変化するみたい。そんなことは起きない。実際には小説にアイデアを借りた映像作品ができる、というだけでしょ。アイデアを

この言葉はあなたが言ったのです。リッチ。あのかわいそうなデイエゴ、愉快なペルー人が人のお金を盗んだ疑いをかけられたときに、彼を励まそうと、あなたは言いました。

男 女 男 女 男 女 男

アニマテ・ラ・ビダ・シク・アデランテ・デ
イエゴ！私は驚きました。日本人の学生がス
ペイン語でペルー人を励ますなんて。留学生
支援のボランティアサークルの学生たちの
中でも、あなたは特別に目立っていたわ。私
たちと話すときは理解されやすいように日
本語を標準語でしゃべるのは普通りね。リッ
チ。でもあなたが大阪弁で仲間と話すのを聞
くのを、私は好きだったわ。

と、いうことは君は…

覚えていないの？私は髪をこうしてた（両手
で当時の髪の様子を示す）

リタ？あの、お下げ髪の、物静かな、メキシ
コ人留学生が、君？

美容整形はお金もかかるけど、こういうこと
が起きるのも困るわね。でも、気づいてほし
かったな。

メキシコ人の知り合いなんてほとんどいない
のに、そのうちの一人に、こんなかたちで会
うなんて。驚いた。

私はすぐにわかったわよ。でも昔と違って、
煙草を吸わないのね。禁煙したの？

あのころも好きで吸ってたんじゃないくて。

あなたがたばこを小さなナイフで二つに切っ
て吸ってたのを覚えてる。そのほうがたくさ
ん吸えると言って。そのためだといって、小
さなナイフを持ち歩いてた。

腹が減るのをたばこでごまかしてたんです。

男 女 男 女 男 女 女

あのころは本当に金がなかったんですよ。
帰国してから一度も連絡していないものね。
私はディエゴとフェイสบックでつながっ
ているのよ。彼の経営するレストランチェー
ンは順調に発展しています。あなたは映画で
坂を駆け上った。彼はビーフステーキで駆け
上った。ペルーに行ったら訪ねてみるといい
わ（2人、笑い合う）。

リタは、大学で日本文学を教えていると、誰
かに聞いたけど。

しばらくはね。でも研究者の仕事は不安定で。
仕事がなくなつて困っていた時に、サン・バ
リに会つて、エージェントになったの。も
う10年以上になるわ。

サン・バリとは大学で出会ったの？彼の正体
は、日本文学の研究者？かつての同僚？
覆面作家の正体を探るのは悪趣味だわ。

たしかに日本文学の影響を指摘する人はいる。
日本映画もよく見ているし、日本に滞在した
ことがあるのでは、と思えるところもある。

悪趣味よ。覆面も個性の一部だわ。メキシコ
のプロレスラーには覆面のまま、葬られた者
もいます。小説家のパースナリティーや生き
様も作品の一部、そういう考え方はもう古い
のではないかしら。そんなことはやめて。そ
れよりも、私たちの話をしましょう。私たち
が共有した時間、共有した場所の話を。

共有した場所？

男

女 男

女 男 女 男

女 男

女 男 女

覚えていない？雪の日の口縄坂。
あ。

覚えているのね。うれしいわ。あの坂は今でも同じたはずまいで、ひっそりと蛇のように長く延びているのでしょうね。私たちは変わってしまったけど。

覚えているよ。

私は口縄坂を上っていた。後ろからリッチ、あなたが急ぎ足で坂を上ってきた。私は振り返って、私が出ようと思っていた近代文学のイベントにあなたも出るんだ、と思った。そして前を向いた。冬の日の灰色の空が坂の上に広がり、雪が舞い始めた。あなたが早足に歩き、私に追いついた。そして。

ごめんなさい。

どうして謝るの。

だって。

あなたは無言で、私の手をつかんだ。手をつないで、2人は坂を上っていった。口縄坂の石段を登って、織田作之助文学碑のそばを通り、雪と光の中を谷町筋のほうへ。

ごめんなさい。

どうして織田作之助はあんなに大阪の人に人気があるのかしら。ダメな夫とたくましい妻が出てくる愉快な小説が代表作で、それ以外に有名な作品はないのでは？ほかにも大阪出身の素晴らしい作家はたくさんいるのに。君はそうは思わないのかもしれないけど、小

女 男

女 男

女 男

女

説家の個性や生き様は作品の一部なんですよ。彼は大阪から離れず、書き続け、若くして亡くなった。生き様を隠そうとしなかった。メキシコのプロレスラーのように覆面をすることはなく、彼の顔や姿を人々は作品と同じように覚えてるんです。

あのとき、私は困惑して、言葉が出なかった。そんなに親しくないあなたが、どうして私と手をつなぎたいと思うのか。すごく考えた。質問しなかったが、できなかった。男の子と手をつないだことなんかない、静かな女の子には、それは質問できなかった。

悪くなんかない。でも私は困惑していた。何か話さないと、思っ、口から出たのは別のことだった。リッチ、私は雪を初めて見ました。

覚えています。

あなたは聞いた。メキシコには、雪は降らないの。私は答えた。降る所もあります。でも私のまちには降らない。そして聞いた。雪が地面に落ちると消えるのは、雪の温度が地面の温度よりとても下だから？あなたは、きつとそうだね、と言った。

そういいましたか。

それなら水に落ちた雪はどうなるのかな。雪と同じような温度なら、海やスイミングプールの底にも、雪は積もるのかな。

男 女 男 女 男

女 男

女 男 女 男

女 男

私は、わからない、と。
雪が降るほど寒い日だというのに、あなたは白いシャツにジーンズだけ。小さなボストンバッグを持って。私はリッチ、寒くないの？と聞いた。
私は、寒くない、と。
そのあとどんな話をしたのか、覚えてる？忘れてしまいました。
2人は話しながら、谷町筋まで歩いて行った。そして私はイベント会場へ。あなたはなぜか、私の手を放して、地下鉄の駅のほうへ。なぜそんなことをしたのか。説明もなしに。いま説明するよ。
私はあなたからの説明を待った。とてもロマンチックな説明がきつとあるだろうと。どきどきしながら。あなたの顔をみるたびに期待で、心臓が壊れそうだった。でもあなたは、そのあとの半年間、話しかけても来なかった。悪かった。
謝らないで。でも、説明はほしい。
リタはすぐくかわいらしかった。
ありがとう。
ずっと、好きでした。親しくなりたいと思っていた。でもうまく言えなかった。たった一人で手袋もせずに、口縄坂を上っている君を見つけて、これを逃すと、もう親しくなる機会がないと思った。でも言葉が思いつかなかった。そういうとき、言葉って出てこないで

女 男

女 男 女 男

女 男 女 男 女 男 女

男 女

すね。思わず手を握ってしまい、そのまま坂を上った。そして、最後まで言葉が思いつかず、地下鉄に乗ってしまった。後悔したよ。いや、いまでも後悔している。
そのあとの半年も？
怖くて、話しかけられなかった。言葉を思いつかず、恋人になってほしいとか、とても言えなかった。だって帰国する日が近づいていることも分かっていたから。
お互いに、内気すぎたのね。
許してほしい。
純粹で、素朴で、口下手な二人だった。そうです。許してください。
本当にそうなら、どんなにいいだろう。え？
あなたの今の説明が事実なら、どんなにいいだろう。
事実です。
そんなわけないだろ。クズヤロウ。
えっ。
地球の裏側ではるか昔に起きたことだ。美しいウソを信じたまま、ここで別れてもいい。あなたはプロレスと壁画を楽しみ、日本へ帰る。私は美しいウソを楽しみながら、これらの人生を過ごせる。
ウソではありません。
そうだろうか。わずか15分間ほどの出来事。でも私はその後、500時間も、その理由を

女 男

女 男

女 男

女 男

女 男

考えたわ。いまのあなたの話も可能性としてあると思った。でも、やがて、そんなはずはない。この話には裏側に別のエピソードがある、と気づいたの。

なんです。その裏側のエピソードって。

あなたはなぜ、「リッチ」というニックネームだったのか。

名前が利一だからですよ。日本ではよくあるニックネームの付け方です。

それもあるだろうが、本当は違う。奨学金をたくさん受けて大学に來ている学生なのに、ふだんはたばこで空腹をまぎらせている若者なのに、急にリッチになることがあるからだ。突然気が良くなり、突然みんなにおごったり、金を貸してくれたりする。

それは、奨学金が入って、気が大きくなることがあったんでしょう。

奨学金ではそこまでの余裕はできない。あなたと手をつないで坂を上るとき、あなたのシヤツからかすかににおいがした。

たばこの匂いですか。

最初はそうかと思った。でもあの時のあなたの匂いはいつもと別だった。あれは、ガスのにおいだ。そして何かを焼き焦がした匂い。ガス？

日本の泥棒の手口に、あると聞いた。ガスバーナーで窓ガラスを焼いて穴をあけ、そこから手を入れてカギを開ける。あの近辺で被害

女 男

女 男

女 男

が出ていたことも、あとで聞いた。なんてことを。

金に困ったあなたをリッチにしたのは奨学金ではなく、ガスバーナーだったのではないか。ディエゴが盗みの疑いをかけられて、泣いたとき、あなたは彼を励ました。盗まれた金はディエゴのリユックから見つかっていたのに。アニマテ・ラ・ビダ・シク・アデランテ・ディエゴ！なぜ、あなたは彼を励ましたのか。あなただけはディエゴがけっして盗んでいないことを知っていたからだ。盗んだのはあなたで、それが発覚しそうになった時、あなたは金を彼のリュックの中に入れた。

ひどいことを言いますね。

口縄坂で出会った時のあなたは一仕事終えてきたところだったのではないか。そして誰かに見られた。あるいは誰かに見られた気がした。だから上着とガスバーナーをボストンバッグに入れた。たまたま見つけた私と無理やり手をつなぎ、カップルに見せかけた。カップルで泥棒に入るやつなんかいらない。私はあなたにとつて、好都合に現れた、カムフラージュの道具だった。

君は、推理作家のエージェントもできますね。たばこを切るのははさみでもできるのに、なぜあなたはいつも小さいナイフを持ち歩いていたのか。盗みに入った後で、何かをこじ開けるのに使ったのだらう。また、誰かと鉢

男 女 男 女 男

合わせした時に、それで人を脅したこともあったのかもしれない。そんなことがないように、と願うのだが、それが人を傷つけ、血が流れたこともあったのだろうか。もちろんいまとなつてはあなたの罪を裁くことはできない。だがこれはいえる。あなたの説明は美しい嘘で、あの寒い日の私はただ、利用されただけだった。

(間。笑う) いやあないやないか。経済やねん。全部、経済やねん。金が回ってくるやつには、続けて回ってきて、回ってこうへんやつには回ってこうへんねや。リッチな大学生を送りたければ、回ってくるほうにならんあかんねん。

つまり、あなたはこう言いたいのですか。自分のやってきたことは、間違っていないと。そんなことは言うてへん。言うてへんよ。あのころだって、そんなことは思ってたよ。でも金がないで、でも夢もあって、能力もある若者にとって、ほかに道は(短い間)ありませんでした。

なぜ、留学生支援のボランティアを？ 私たちから金をとろうと考えたのか。

そうじゃありません。いや、最初はそうだったかもしれないが、留学生のみんなというときだけが、楽しい時間でした。同じように生活の苦労があるが、頑張っている、優秀で

男 女 男 女 男 女 男 女

意欲的な人たち。それは信じてください。私のナイフは人を傷つけたことはありません。盗んだ金の一部は、20年以上たつてからですが、郵便受けに返しました。だからといって、罪が消えたとは思っていませんがあの冬の坂で、私は何か美しいものが生まれただと思つた。それを私はずっと持ち続けた。今さら文句を言うつもりはないが、利用された愛や、報われなかった愛は、(短い間)置き場所に困るわね。

私の過去の話はやめて、現在の君の話をしませんか。

現在の私？

今話を聞いて思い出しましたよ。「ヴェネチア旅行」の後半に、ヴェネチアの運河に雪が降る場面がありましたね。

あつたわね。

主人公の女性が言う。「あなた、運河の底に雪は積もっているのかしら」。夫は言う。「クラウディア、私にはわからないよ」。

よく覚えていますね。

私たちのあの時の会話に似てる。偶然ですか。

私がサン・バリの話したのかも。

サン・バリのエッセイにありました。「周囲の人の言葉が小説のヒントになることはある。だがそのまま書くことはない。時間をかけて修正し、私にヒントをくれた人自身にも気づかれないほどに必ずする」

女 男 女 男 女 男 女 男 女

よく覚えていますね。

サン・バリの正体については諸説あります。複数の作家が書いているという説。もう死んでいて弟子が書いているという説。実はエージェントが書いている、という説も。

あなたはかつてアリババの時代からいるトラディショナルな悪人だった。いまは、きわめて現代的な悪人になろうとしているのですね。くだらない情報を拡散する者、という悪人。それは泥棒以上に、人を傷つけるかもしれませんよ。そして20年後の郵便受けに素晴らしい情報を投げ込んでも、くだらない情報は消えません。

「悪」はアリババの時代に始まったのではなく、最初の男女に蛇が話しかけて始まったのではないのでしょうか。

その時に蛇が話しかけなければ、今の世界はないと、あなたは言いたいのですか。

私がいま話しているのは、サン・バリ本人ですか。

(間) アディオス・アミーゴ。久しぶりに会えてうれしかったわ。リッチ。

交渉は終わりですか。

継続中よ。個人的な感情は別にして、話し合いを続けましょう。条件をのんでくれたら、映画化は実現し、ヴェネチアの運河に降る雪を世界中の人が映画館で見るでしょう。帰国して、監督とよく話し合ってください。

男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男

わかりました。困難はありますが、乗り越えられないか、よく検討します。ありがとうございます。

私も久しぶりに会えてうれしかったです。リタ(レモネードの代金を置いて立ち上がる)。リッチ、もう一つ条件を加えてもいい？

(音楽) 時間を巻き戻して。そしてあの冬の口縄坂に流れる時間を20分の1の速さにして。お下げ髪の内気な女の子。彼女のために。あの幸せな時間をゆっくりと進めてほしい。降り始めた雪の中、口縄坂の石段を上がつて、織田作之助文学碑の前を通り過ぎる。リッチ、寒くないの。

いや、寒くないよ。私、もうすぐメキシコに帰るのよ。日本にまたいつ来られるか、わからない。

知ってる。でもまたいつか、どっかのまちで会えるよ。

そうね。そこでも雪が降ってるのかな。え？

そのまち。

そうだね。そうだといいね。

じゃあ、メキシコじゃないね。

大阪でもない。こんなに降ることってめったにないから。ヴェネチアとか？

ヴェネチア？どうしてイタリアなの？なんとなく。

女 男 女 男 女 男 女 男 女

なんとなく？

きれいなところなんだって。運河があつて。映画祭やつてる。「水の都」って言われてる。

織田作之助によると大阪は「木の都」だけ。映画祭つてなに？どんなことをするの？

知らない。

でもいいね。ヴェネチアだったら、すごくいいね。

うん。すごくいい。

リッチ、その時、あなたがお金持ちで、幸せだったらしいね。

絶対、2人とも、すごく金持ちで、めっちゃ幸せやで。

雪と光の中を、谷町筋まで歩く2人に流れる時間をできるだけ長く、ゆつくりと。20倍

から30倍に。そして私はイベント会場に。あなたは地下鉄の駅に。(間)そこから先、

今までの時間は1・2倍速でいいわ。

(無言で頭を下げる。そして去る)

ウェイター。注文を追加するわ。ホットコーヒーとバニラアイスクリーム。きょうも暑い

わね。

溶暗
幕。

参考文献

地球の歩き方メキシコ編

木の都 (織田作之助) 新潮文庫所収 (地球の歩き方編集部)

映画

「男はつらいよ」シリーズ

「釣りバカ日誌」シリーズ

「ドラえもん」シリーズ

「風と共に去りぬ」「ハムレット」の
映画化に言及する場面があります。